

2025年度 授業コード: 21105123

授業科目	*精神看護学実習(2023年度入学生)				実務家教員担当科目	-					
単位	2	履修	必修	開講年次	0	開講時期	後期・前期				
担当教員	前田 由紀子/矢治 亜樹子										
授業概要	実務家教員として精神科病棟に看護師として勤務した経験を活かし、より実践的な実習内容とする。精神科病棟における患者との対人関係を発展させ、日常生活を整える援助を通して看護の実際を学ぶ。患者のストレングスに気づくとともに、セルフケア能力を高める看護を実践する。さらに、看護実践の過程を振り返り自己洞察しうる能力を養う。また、地域への自立支援にむけた看護活動の実際につれ、精神障がい者の地域生活支援について統合的な視点を身につける。										
授業形態	対面授業			授業方法	臨地実習						
<b>学生が達成すべき行動目標</b>											
標準的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神に障害を持つ人への治療と治療的環境について説明することができる。</li> <li>2. 精神に障害を持つ人を理解し、関係性を述べることができる。</li> <li>3. 患者—看護者関係の発展過程を理解し、治療的かかわりを展開することができる。</li> <li>4. 精神に障害を持つ人を受け持ち、セルフケア能力をアセスメントし、必要な援助を行うことができる。</li> <li>5. 精神医療における社会復帰の現状および問題点と看護の役割・機能を述べることができる。</li> </ol> <p>精神に障害を持つ人を理解し、入院患者の治療と治療的環境について説明することができる。精神に障害がある人を受け持ち、患者—看護者関係の発展過程を理解し、治療的かかわりを展開することができる。また、受け持ち患者のセルフケア能力をアセスメントし、必要な援助を行う。精神医療における社会復帰の現状および問題点と看護の役割・機能を述べることができる。</p>										
理想的 レベル	標準的なレベルをすべて網羅できたうえで、精神看護学実習を、積極的、主体的に実践できる。受け持ち患者以外にも精神病理（生物学的、力動的）と治療について理解し、セルフケア援助技術や方法を実践することができる。援助家庭の再構成を通して、学生自身の対人関係の持ち方について気づき、自己洞察をすることができる。地域で生活する精神障がい者を理解し、地域精神保健活動の課題と展望を考えることができる。										
<b>評価方法・評価割合</b>											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験											
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物		55				0					
その他		45				実習への取り組み					
<b>カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング</b>											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	-
<b>学習課題（予習・復習）</b>										1回の目安時間（時間）	

<p>実習前に事前学習として提示する。実習中は看護過程の展開、その他の記録物に沿って学習を進める。</p>	<p>0</p>
<p>授業計画</p>	
<p>第1回</p>	<p>閉鎖病棟または開放病棟において、原則として患者1名を持ち、病棟の看護体制に準じて精神看護学実習を行う。指定された2週間で、受け持ち患者の状態と病棟の状況に即して講義・演習で学んだ知識や方法を基に実践する。詳細は実習オリエンテーションで配布する「実習要項」を参照する。（前田由、矢治）</p>
<p>テキスト</p>	<p>必要に応じてプリントを配布する。</p>
<p>参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<p>精神看護学演習において配布したプリント 岩崎弥生, 渡邊博幸(編) 新体系看護学全書 精神看護学概論 精神保健 第6版 メヂカルフレンド社 岩崎弥生, 渡邊博幸(編) 新体系看護学全書 精神障害をもつ人の看護 第6版 メヂカルフレンド社 水谷緑 精神科ナースになったわけ イーストプレス 南 裕子 (編/著) アクティブ・ナーシング 実践オレムアンダーウッド理論 ころを癒す (講談社)</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>事前学習は、コメントを入れて返却する。実習内容、実習記録に関する課題は、個別指導やグループディスカッションにてフィードバックする。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>これまでに学んだ精神疾患及び精神看護学に関する講義・演習の振り返りをしておく。 精神科看護に関する図書やビデオ学習、精神障がい者社会復帰施設などのボランティア参加・見学などの機会を活用して精神医療の理解を深めてください。</p>